

鹿屋 終戦記念日に 恒久平和を願う



8月15日、今坂町の小塚公園で「終戦記念日の集い」が行われました。この集いは、戦争の歴史を次代に語り継いで行くことを目的に「鹿屋航空基地史料館連絡協議会」が行っているもので今年で13回目。集いには、旧海軍関係者や市民など約30人が参列し、全国一斉の黙とうに合わせて戦没者の御霊の冥福と恒久平和を願いました。

鹿屋 ソフトボールで全国3位



静岡県で行われた「第22回全日本小学生ソフトボール大会」で3位に入賞した西原台ソフトボールスポーツ少年団が、8月19日、市役所を表敬訪問しました。郷原監督から各選手の活躍ぶりを聞いた山下市長は、選手一人ひとりの健闘をたたえ、「今大会に関わったすべての人への感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください」と激励しました。

鹿屋 月と星の神秘に魅了



8月11日と12日の2日間、「リナシティかのや」で「月と木星の観望会」が初めて行われ、両日で親子連れ約100人が月と星の神秘に魅了されました。観望会に参加した児童たちは、初めて見る月のクレーターなどに感嘆の声をしながら驚き、「感動しました。また、次回も観望会をやってください」とスタッフにお願いしていました。

鹿屋 肌で感じた農業体験



8月18日、海外での農業研修参加者で組織する雄飛会（柿元博志会長）と市が、子どもたちに農業への関心を持ってもらおうと「夏休み農業体験ツアー」を行いました。子牛のセリ市やヨーグルトなどの乳製品の製造行程の見学、土の健康診断などを学び、最後は、イモ掘りを体験。参加した23人は、農業を肌で感じながら、楽しい1日を過ごしました。

鹿屋 吾平 輝北 中島 新規就農者の門出を祝う



8月5日、市農業研修センターで「営農の門出を励ます会」が行われ、平成19年度までに新たに農業に従事した新規就農者19人の門出を祝いました。シンテッポウユリやスプレー菊などの花きをはじめ、施設・露地野菜の栽培、養豚や肉用牛の生産などに取り組んでいる新規就農者は、年齢が21歳から50歳まで幅広く、I・Uターンや転職など就農形態も様々です。励ます会では、記念品などが贈られたほか、「先人の技術を習得し、規模拡大を図りたい」「毎日が試行錯誤の連続だが、先輩達の指導を仰ぎながら頑張ります」などと、一人ひとり力強い抱負を述べました。また、最後には新規就農者全員で記念植樹を行い、就農への決意を新たにしていました。

鹿屋 子ガメが元気に海へ帰る



8月14日、浜田海岸で「子ガメの帰海観察会」が行われました。これは、6月7日に同海岸で産卵が確認され、波で流失しないように人工ふ化施設で保護していた卵からふ化した73匹の子ガメを海に帰そうと開催されたもので、浜田小の児童など約100人が参加。体長5cmほどの子ガメは、子どもたちの声援を受けながら、元気に海に帰っていきました。

鹿屋 多数傷病者発生災害 対策訓練を実施



8月29日、中央消防署訓練場で「多数傷病者発生災害対策訓練」が実施されました。この訓練は、9月1日の「防災の日」を前に、集団事故に対する関係機関の初動体制の確立と相互の連携により迅速な救出救護活動を行うことを目的に開催されたもので、消防や警察など約120人が参加。参加者は本番さながらの訓練に、真剣に取り組んでいました。

鹿屋 北京五輪出場選手 コーチの健闘を称える



8月28日、「北京オリンピック」で市民に夢と感動を与えてくれた鹿屋体育大学の柴田亜衣選手、高鍋絵美選手、田中孝夫監督を迎え、北京オリンピック慰労会「おやっとなさあ会」が開催されました。鹿屋体大の水泳部員や関係者など約200人が参加し、鹿屋かんばちなどの特産品が振る舞われたほか、3人には花束が手渡され、参加者全員で健闘を称えました。

鹿屋 中島 8月は食品衛生月間



8月8日と11日、市食品衛生協会が市内各地のスーパーなどで、「食品衛生キャンペーン」を実施しました。これは、毎年8月に実施される食品衛生月間にあわせて、食品衛生への意識を高めてもらおうと行われたもので、8日は鹿屋地区、11日は中島地区で実施されたもの。一人ひとりにびらを配りながら食品の適正な衛生管理について呼びかけました。

鹿屋 読書の大切さを再認識



8月8日、市文化会館で「鹿屋市家庭教育講演会兼鹿屋市読書指導者等研修会」が開催されました。当日は、読み聞かせの実演やブックトーク、詩の朗読などのほか、児童文学作家の西本鶏介さんによる「読書のある家庭」と題した講演が行われ、約900人が参加。参加者は、講演に熱心に耳を傾け、家庭での読書の大切さを再認識していました。

鹿屋 鹿屋東中が全国中学校 ソフトボール大会で準優勝



富山県で行われた第30回全国中学校ソフトボール大会で準優勝した鹿屋東中学校が、8月28日、市役所を表敬訪問しました。大会には、全国から16チームが出場。決勝では群馬県の新島学園中学校に惜しくも敗れたものの、準優勝という見事な成績をおさめました。新名主教育長は「今回の頑張りを今後の生活にいかしてください」と激励しました。